



若冲をテーマにしたアートイベントで 錦市場を盛り上げる

京都市
中京区

デザイン・建築学系
中野仁人教授研究室
阪田弘一准教授研究室

【活動場所】

京都市中京区

【活動目的・背景】

伊藤若冲が錦市場の出身であることを、地元住民でさえも十分に知らないという状況でした。若冲をテーマにしたアートイベントを毎年秋に開催し、錦市場をアピールすることで、集客だけでなく地元住民の意識を高めることも目的の一つとしています。

【取組概要】

中野研究室では、若冲の絵をもとにしたタペストリーを学生が描き、アーケード上部に十数メートルに及ぶインスタレーションを制作・設置しています。阪田研究室では、期間中に空き店舗を特設ブースとして改装し、中野研究室の学生がお店一軒一軒と相談しながら作成したオリジナルグッズ（てぬぐいなど）を販売しています。

【成果・今後の課題】

期間中は、錦市場に若冲のモチーフがあふれ、にぎわいをつくり出すと共に商店街の結束を強め、文化的価値を高めるきっかけになっています。夏の祇園祭神輿渡御や初冬の鍋づくしなど他のイベントでも学生が参加し、交流が深まっています。



【本取組に関するお問合せ先】

企画課 地域・社会連携室

Tel : 075-724-7107

Fax : 075-724-7750

E-mail : chiiki@jim.kit.ac.jp

【関連 Web サイト】

<http://www.coc.jp/report/1097/>

<http://www.coc.jp/report/613/>